

ケアマネ連絡会

◇令和4年度 事業報告

1、主な構成メンバー

- ・長野市障害福祉課
- ・長野市北部障害者相談支援センター（5名）
- ・長野市南部障害者相談支援センター（4名）
- ・長野市北部発達相談支援センター（1名）
- ・長野市南部発達相談支援センター（1名）
- ・長野市障害者権利擁護サポートセンター（2名）
- ・長野市障害者地域移行コーディネートセンター（1名）

2、今年度の取り組み

ケアマネ連絡会では、各部会やワーキングの活動状況や参加された会議等についての情報共有を中心に行ってきた。今年度は5つの地域課題ワーキングが立ち上がり、運営委員会と共に事務局の役割を担った。地域課題を地域の様々な支援機関と共有し課題の分析や方向性の検討を行った。

3、ケアマネ連絡会の活動状況・主な成果と課題

（1）ケアマネ連絡会活動報告

【長野市障害ふくしネット】

事業名・事業内容	内容	活動実績
各部会への参加	各部会・委員会の定例会と執行部への参加	ケアマネ連絡会より代表者が各部会・委員会の定例会と執行部への参加。会議内容をケアマネ連絡会で報告、課題等情報共有をおこなった。またケアマネ（相談員）として部会・委員会にどのような立ち位置と意識して関わっているかを確認した。
指定相談支援事業所連絡会	長野市内の指定相談支援事業所の相談支援専門員の定例会議。制度や事業所等についての情報共有と、テーマに基づいた講義、グループワークを実施。	ケアマネ連絡会、連絡会執行部、長野市障害福祉課とで協力して一体的に運営した。ケアマネ連絡会としては地域課題を意識してのかかわりに努めた。兼ねて、南北障害者相談支援センターとして人材育成の視点で相談支援専門員との連携強化に努めた。

部会長連絡会・運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長連絡会 ・運営委員会 ・事務局会議 	運営委員会、事務局会議へ、ケアマネ連絡会からも代表者が参加し、運営委員会にむけての議題整理、地域課題の共有、検討や情報共有に努めた。運営委員会で検討された事項をケアマネ連絡会で情報共有した。
ふくしネットフェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・部会間の連絡調整 ・担当部会へのフォロー 	今年度より各部会長が中心になり、ふくしネットフェスタの準備等を行った。ケアマネとして部会間の調整や担当部会のフォローなどを行った。

【会議等（長野市）】

事業名・事業内容	内容	活動実績
障害支援区分認定審査会	障害支援区分の審査	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎月、1回平均30件行った。 ・コロナウィルス流行状況から、書類審査となる会もあった。
長野市障害者虐待防止連携協議会	保健医療関係・障害福祉関係・警察・司法関係・行政機関・長野市が参加し、R3年度活動報告、R4年度活動方針のほか、「障害福祉事業所での虐待防止の取り組みと課題」等事例報告をいただき、各関係機関との意見交換を行った。	R4年9月30日にケアマネ連絡会より出席
長野市障害者差別解消連携協議会	保健医療関係・障害福祉関係・警察・司法関係・行政機関・長野市が参加し、R3年度活動報告、R4年度活動方針のほか、聴覚障害のある当事者からの体験発表をお聴きした。	R4年9月30日にケアマネ連絡会より出席

長野地域成年後見支援ネットワーク協議会	長野市成年後見支援センターの運営及び成年後見制度の利用促進に関わる会議への参加	<p>第1回（R4.12.19 書面会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村における利用促進の対応状況 ・長野市成年後見支援センターの運営状況について <p>第2回（R5.02.15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村における令和5年度の取り組み予定について ・長野市成年後見支援センターの運営状況について ・後見人等に関する苦情等への適切な対応について
長野市地域福祉推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治協・民協・長野地区保護司会、長野保健医療大学、NPO 法人にっこりひろば、更北ボランティアセンター、若槻ホーム（地域包括支援センター）、長野県長寿社会開発センター長野支部、長野県 NPO センター、障害ふくしネットの新たな10人の委員と、地域包括ケア推進課、市社協地域福祉課、福祉政策課のメンバーにより、第四次地域福祉計画の実施状況その他市の地域福祉の推進について意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年2月1日に開催された、第1回長野市地域福祉推進会議にふくしネットより参加。

【会議等（長野県）】

事業名・事業内容	内容	活動実績
障がい者相談支援体制機能強化会議	各市町村の障害者総合支援センター代表と、行政が参加。県の自立協議会に位置づけられた会議として、各地域の障害者相談支援体制の整備及び質の向上を目的とする会議。	<ul style="list-style-type: none"> ・3回開催 ・障害者総合支援法改正法施行3年後見直しについての情報共有や、地域生活拠点、障害福祉計画・障害児福祉計画について市町村やセンターから提出された報告シートを使いながら取り組みを共有。 ・主任相談支援専門員の参加を促し、地域の相談支援体制強化に向けた圏域の取り組み事例をもとに、意見交換。

長野県自立支援協議会	長野県自立支援協議会の各部会の活動状況や各市町村の状況についての報告	3回参加（6月、11月、3月） <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 長野県自立支援協議会について/地域自立支援協議会の運営について ・第2回 県自立支援協議会フォーラムを受けて ・第3回 3月14日開催予定 県自立支援協議会全体の様子・動向を把握し、ふくしネットの運営に繋がられるよう運営委員会への報告も行っている。
長野圏域自立支援協議会連絡会議強度行動障害に係るワーキング	強度行動障害のある児・者に関する課題の調査・研究を目的として設置。発達障がいサポマネ、圏域内の福祉事業所、支援学校、医療機関、行政、相談支援センター等で構成。	今年度ワーキングとしての動きはなかった。
長野圏域障害者総合支援センター連絡会	長野圏域内の総合相談支援センターの連絡会を開催した。	2回開催（11月15日、2月1日） 圏域内各ブロックの協議会の状況や運営の課題、主任相談支援専門員との連携等についての情報交換を行った。次年度も継続していく方向で確認されている。
長野圏域こども相談支援連絡会	長野圏域内の障害児に関わる県委託と市町村委託相談員による連絡会。参加者：長野福祉事務所、サポマネ、療育co、市委託相談員（北部地域は飯縄町福祉課）。	3回開催（7/21、11/10、2/16） 各地域の自立支援協議会活動内容の情報交換と相談事例からの課題検討、長野保健福祉事務所、サポマネや療育coから県の動きの情報提供。次年度も継続していく方向。

【地域課題WG】

事業名・事業内容	内容	活動実績
災害時の支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市の個別避難計画作成の取組 ・市内事業所のBCP作成状況や内容について調査 ・令和元年台風19号時の対応等振り返り ・NHK長野局と長野市の共同企画「災害から命と暮らしを守る」地域ミーティングへの協力 	ワーキンググループを上げるための話し合いを5～2月にかけて8回実施。 災害時の支援は、情報・避難過程・避難所・個別避難計画・復旧など、いくつもポイントがあり、どこから取り組めばいいか課題の絞り込みに時間がかかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・8月 地域ミーティングへの協力・参加 ・2月 市内事業所へのアンケート実

生活介護での入浴支援	生活介護事業所における入浴サービスに係る加算についての検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議（6回） ・ワーキンググループの開催（2回）（7月11日、11月10日） ・生活介護事業所へのアンケートの実施（7～8月） ・県自立支援協議会へ課題提出（12月）
高齢化問題	運営委員を中心に、長野市、ケアマネ（相談員）とでWG設置に向け課題を、項目ごとに集約し検討を行った。	R4年6月22日、9月26日、10月28日、11月25日、R5年2月28日 令和4年度5回の会議を実施
学校卒業後の夕方支援	学校卒業後の夕方の支援について、家族の就業支援という観点を含めて検討。長野市日中一時支援事業を見直し、障害者及びその家族が当たり前の地域生活を継続できることを目的とした。	ケアマネ（相談員）が執行部となり執行部会年4回実施。ワーキングは年3回実施。夕方支援を担う事業所に参加依頼、各事業所での対応や本人・家族のニーズをアンケート調査。そこから見えてきたマンパワー不足や費用面の課題から長野市日中一時支援事業の見直しの方向性を出した。
医ケア児の移送問題	医療的ケア児の移送課題について地域の状況確認と県内や他県の動きを情報収集。事業化に向けての検討を行った。	7回開催。（6/21、7/12、8/31、9/27、10/25、12/1、1/13）

（2）総括

①長野市障害ふくしネット

障害者相談支援センターの役割とふくしネットとしてのケアマネ連絡会の役割を整理して、ケアマネ連絡会はふくしネットや地域課題に関する検討を行う会議とした。

ケアマネ連絡会の中で、ふくしネットへの参画について検討、ケアマネ連絡会が部会等に参加する役割や位置づけについて確認し、担当を決めて各部会・委員会及びその執行部へ参加した。ケアマネ連絡会ごとに部会等の検討内容を報告し、情報共有に努めた。R4年度の後半では、各部会・委員会の検討課題、検討の状況や課題をケアマネ連絡会全員で共有、検討した。

②地域課題の検討

自立支援協議会（ふくしネット）の役割として、地域における課題の抽出と検討を行い、障害福祉の社会資源や体制の整備を行っていく役割がある。

運営委員会で分類され優先順位の高いA群についてワーキングを立ち上げ、運営委員会とケアマネ連絡会メンバーが各ワーキングの事務局として運営を行った。A群は「災害時の支援体制」「生活介護での入浴支援」「高齢化問題」「学校卒業後の夕方の支援」「医ケア児の移送問題」の5つのワーキングで検討を行った。また次に優先順位の高いB群、C群についてもケアマネ連絡会の中で課題の共有を行った。

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 5年 3月 7日 部会名・WG名 ケアマネ連絡会

問い合わせ先

テーマ

社会資源の南北差

話し合った内容・得られた結果	今回のテーマ・新たな課題	今後の方向性
<p>○9月ケアマネ連絡会で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源は南部と北部による差だけではなく市街地と中山間地などで特徴や数量的に差がみられる。 ・社会資源の偏在だけでなく、社会資源へのアクセスの課題(交通手段の有無・交通費など)もあるのではないか。 ・地域を作っていくときに、ニーズとサービス提供する事業所のマネジメントも必要なのではないか。 ・どこに焦点をあてていくか検討は必要。 	<p>《今後の取組みで考えられること》</p> <p>現状確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状について調査をして課題を明らかにしていく。(地域診断) ・相談支援専門員から現状と課題を聞く。 ・社会資源の差について調査研究し、地域課題の整理をすることで、福祉計画など将来のあり方を考える際の資料とする。 <p>関係機関が知る機会・考える機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で起こっていること・困っていること等現状を事業所に知ってもらえれば。(しごと部会やこども部会などを通して) 	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 施策化 <input type="checkbox"/> 再WG化 <input type="checkbox"/> 終結

※提出先:長野市障害ふくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール:fnnet@hynet.sakura.ne.jp

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 5年 3月 6日 部会名・WG名 ケアマネ連絡会

問い合わせ先

取組んだ課題

障害理解や啓発 及び 社会参加の推進

取組んだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
<p>○9～10月ケアマネ連絡会で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふくしネットの取組…市民の理解 一般の人に知ってもらう難しさはある。 (タウンミーティング開催時も一般の人の参加は少ない) 10月から民間事業所も合理的配慮が義務化される。差別解消法の広報をどうやっていくか。市民には知られていないが、どう興味を持ってもらうか。 ・事業所の取組…近隣の理解 事業所(GH等)を作る際の地域住民の抵抗感はあるのか。 地域で生活する人は増えている。上手くいっている事例・困っている事例はあるか。 各事業所で地域を巻き込むイベントを実施している所もある。 ・理解を促すターゲットは何処か。どこを理解していけるといいか。 ・目指すのは障害があっても安心して生きられる社会。 《《今後の取組で考えられること》》 ・事業所でのような意識、取組をしているか。投げかけをしてはどうか。 ・ふくしネットフェスタを通して取組んではどうか。 ・地道に地域の人に知ってもらう、参加してもらう。 	<p>□ 施策化</p> <p>□ WGI化</p> <p>■ 終結</p>	<p>障害理解や啓発及び社会参加の推進は、長期的かつ継続的に取組んでいくことが必要である。また、ふくしネットは、その課題に取り組む組織である。</p> <p>施策化やワーキンググループ等にすることは必要ではないが、ふくしネット全体(各部会や主催事業)で、引き続き長期的かつ継続的に取組んでいく課題と判断した。</p>

※提出先:長野市障害ふくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール:fnnet@hynet.sakura.ne.jp